



# スマートウォッチ型ケース SMWシリーズ

## IP67 試験成績証明書

### 試験成績証明書 説明事項

1. 本成績書は、型番SMW-50□のIP67試験成績証明書となります。  
一般的に筐体のサイズが大きくなるほど、防水・防塵性は下がります。  
SMWシリーズでサイズが最も大きいSMW-50□がIP67試験に合格している事により、  
弊社としては SMWシリーズ全サイズIP67の性能を有していると判断します。
2. 本製品は、穴加工を施した場合、IP67の性能は失われます。  
穴加工を施したり、USBポート・スイッチ等の部品を取り付けた製品については、  
本成績書の適用は不可となりますのでご了承下さい。
3. お客様にて、本成績書を部分的に複写してのご使用は不可とさせていただきます。  
本成績書をお客様のWEBサイトにアップを希望される場合は使用目的を明記の上、  
弊社開発部までご連絡下さい。  
(無断でのWEBサイトアップ、部分複写は禁止しております。)

2025年11月6日  
株式会社タカチ電機工業 開発部

E-mail : tec@takachi-el.co.jp

## 成績証明書

2025年9月29日(受付番号: D25Y0244)付けてお申込みいただいた

下記の製品は、試験の結果、添付の試験成績書(試験成績書番号: 25TR-Y0618)に示すとおり、適用した試験規格の要求事項に適合していることを証明します。

記

申込者: 株式会社 タカチ電機工業

埼玉県川口市東領家3-21-16

製品名: スマートウォッチ型ケース

製品の型: SMW-50□

製品の定格: —

2025年11月6日

一般財団法人 電気安全環境研究所(JET)

横浜事業所長 加藤 正樹



# 試験成績書

試験成績書番号：25TR-Y0618

受付日及び受付番号：2025年9月29日 (D25Y0244)

申込者：株式会社 タカチ電機工業  
(名称・住所)

埼玉県川口市東領家3-21-16

製品名：スマートウォッチ型ケース

製品の型：SMW-50□

製品の定格：一

適用規格：JIS C0920:2003  
電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)  
第一特性数字6及び第二特性数字7

試験結果：適合

2025年11月6日

一般財団法人 電気安全環境研究所(JET)

横浜事業所長 加藤 正樹



試験実施場所: 一般財団法人 電気安全環境研究所

- 東京事業所  
〒151-8545 東京都渋谷区代々木5-14-12
- 横浜事業所  
〒230-0004 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-30
- 関西事業所  
〒658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西4-1
- 電力技術試験所  
〒230-0004 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-28
- その他 ( )  
住所:

試験品受取日: 2025年9月29日

試験実施期間: 自: 2025年9月30日

至: 2025年11月4日

試験実施者: 萬 明久

確認者: 長谷川 和雄

試験項目の判定:

N ( . A. ) : 該当しない試験項目

P ( a s s ) : 適合した試験項目

F ( a i l ) : 適合しない試験項目

— : 適用しなかった試験項目 (依頼者の指定による)

一般注意事項:

- ・この試験成績書は、試験を行った製品に対してのみ有効である。
- ・この試験成績書を部分複写して使用する場合には、JETの承認を書面により受けなければならない。

JIS C 0920 (2003)			
項目	要求事項－試験	結果	判定
11	試験の一般的な要求事項		P
11.1	水及びじんあいに対する試験時の大気状態：		—
	周囲温度：15～35°C	水に対する試験時 21°C じんあいに対する試験時 19°C	—
	相対湿度：25～75%	水に対する試験時 44% じんあいに対する試験時 43%	—
	大気圧：86～106kPa	水に対する試験時 101.5kPa じんあいに対する試験時 102.5kPa	—
11.2	被試験品は試験において次による：		—
	- 清潔で新品の状態	新品	—
	- 完成品	完成品	—
	- 代表部分		—
	- 同一寸法の形状をもつ小型のもの		—
	被試験品の個数	2台(内訳は下記に記す) じんあい試験用 1台 防水試験用 1台	—
	被試験品の取付・組立状態	被試験品は申込者の作成した試験用箱に取り付けられた状態	—
	前処理の有無	なし	—
	充電状態の有無	なし	—
	動作状態の有無	なし	—
11.3	試験条件の適用及び試験結果の解釈	水抜孔及び通気孔なし	P
	水抜孔及び通気孔がある場合の試験に関する試験条件の適用及び試験結果の解釈		N
	試験結果の解釈に使用した規格	「この規格」	P
11.4	第一特性数字に対する試験条件の組み合わせ：表5適用	第一特性数字：6	P
11.5	外郭の内部に機器を入れない場合(外郭単独の場合)		P

JIS C 0920 (2003)			
項目	要求事項－試験	結果	判定
	外郭内部の電気機器の有無 (製造事業者は、内部で電気機器を置かないで試験を行う場合、危険な箇所または外來固形物及び水の浸入などによって影響を受ける部分の位置関係並びに空間距離について明示しなければならない)	試験品内部全体	P
12	第一特性数字によって表される危険な個所への接近に対する保護に関する試験		N
13	第一特性数字によって表される外來固形物に対する保護の試験		P
13.1	試験用器具		P
	表7に示された試験方法及び試験条件を適用	第一特性数字：6 じんあい試験装置 (内部を負圧にする)	P
13.2	第一特性数字1、2、3及び4に対する試験条件		N
13.3	第一特性数字1、2、3及び4に対する適合条件		N
13.4	第一特性数字5及び6に対するじんあい試験	第一特性数字 6	P
	付図2に示す試験装置を使用	付図2(ダストチャンバー)	P
13.4A	カテゴリー1の外郭		P
	- 2時間 (吸引率：40～60倍の容積／時間)		N
	- 80倍の容積になるまで又は8時間経過するまで (吸引率<40倍の容積／時間)	試験時間：8時間	P
13.4B	カテゴリー2の外郭		N
13.4C	カテゴリー1及びカテゴリー2の外郭	被試験品は完成品の状態	P
	被試験品(外郭)を完成品の状態で設置できない場合、次による：		N
13.5	第一特性数字5に対する特定条件		N
13.6	第一特性数字6に対する特定条件		P
13.6.1	第一特性数字6に対する試験条件		P
	カテゴリー1を適用	(13.4項参照)	P
13.6.2	第一特性数字6に対する適合条件		P
	試験終了時、外郭内にじんあいの堆積がない	被試験品内部にタルク粉の堆積なし	P

JIS C 0920 (2003)			
項目	要求事項－試験	結果	判定
14	第二特性数字によって表される水に対する保護等級の試験		P
14.1	試験装置		P
	表8に示された試験方法及び試験条件を適用	第二特性数字：7 タンク 1m (直方体)	P
14.2	試験条件		P
	14.2に従って表8に示された試験方法及び主要試験の実施	表8に示された試験方法 (14.2.7項参照)	P
	水と被試験品との温度差：最大5 K		P
	被試験品（外郭）の表面積：誤差10 %以内	1.0 m <sup>2</sup> 以下	P
14.2.1	滴水試験装置による第二特性数字1に対する試験		N
14.2.2	滴水試験装置による第二特性数字2に対する試験		N
14.2.3	オシレーティングチューブ又は散水ノズルによる第二特性数字3に対する試験		N
14.2.4	オシレーティングチューブ又は散水ノズルによる第二特性数字4に対する試験		N
14.2.5	直徑6.3 mmノズルによる第二特性数字5に対する試験		N
14.2.6	直徑12.5 mmノズルによる第二特性数字6に対する試験		N
14.2.7	深さ0.15～1 mの一時的潜水状態での第二特性数字7に対する試験		P
	a) 被試験品（外郭）の最下端の位置：水面から1000 mm (高さ<850 mmの場合)	水面から1000mm 被試験品の高さ850mm未満	P
	b) 被試験品（外郭）の最上端の位置：水面まで150 mm (高さ≥850 mmの場合)		N
	c) 試験時間：30分	30分	P
	d) 水と被試験品（外郭）との温度差：最大5 K	被試験品の温度：21 °C 水の温度：19 °C 温度差：2 K	P
14.2.8	協議のうえ実施する継続的潜水状態での第二特性数字8に対する試験		N
14.3	適合条件		P
	適用適合条件：	適合条件は下記による	P
	- 14.3に規定	14.3項の適合条件	P
	- 個別製品規格に規定		N

JIS C 0920 (2003)			
項目	要求事項－試験	結果	判定
	被試験品（外郭）内部への水の浸入の有無	被試験品（外郭）内部への水の浸入なし	P
	被試験品（外郭）内部に水が浸入した場合：		N
15	付加文字によって表される危険な部分への接近に対する保護のための試験		N

外観写真 (IP6X)



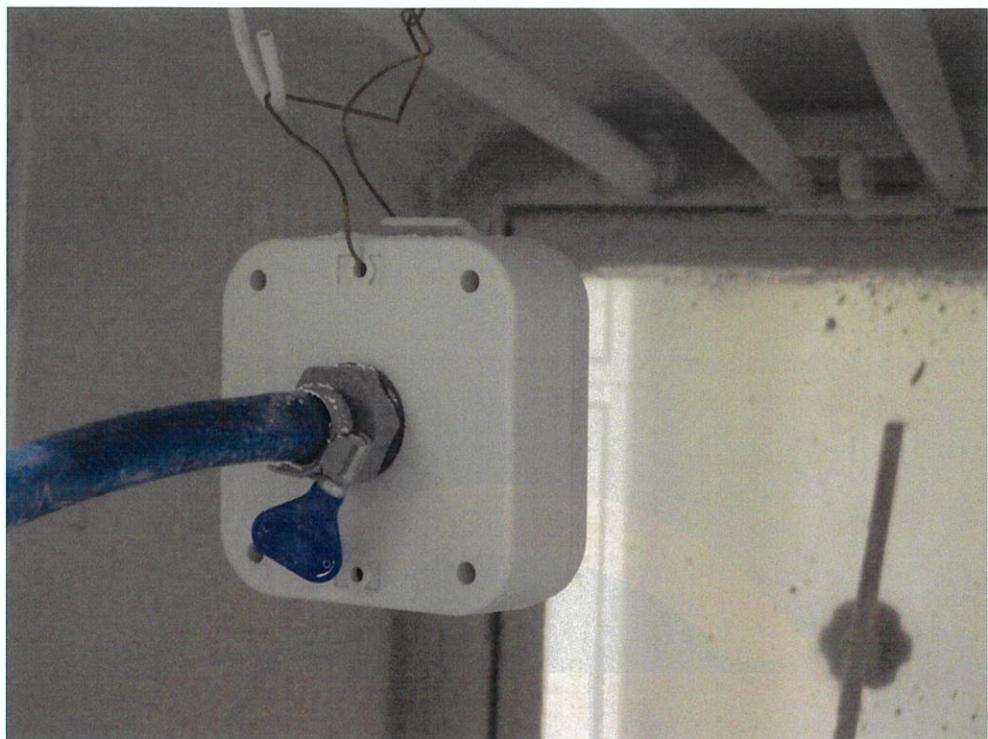
外観写真 (IPX7)



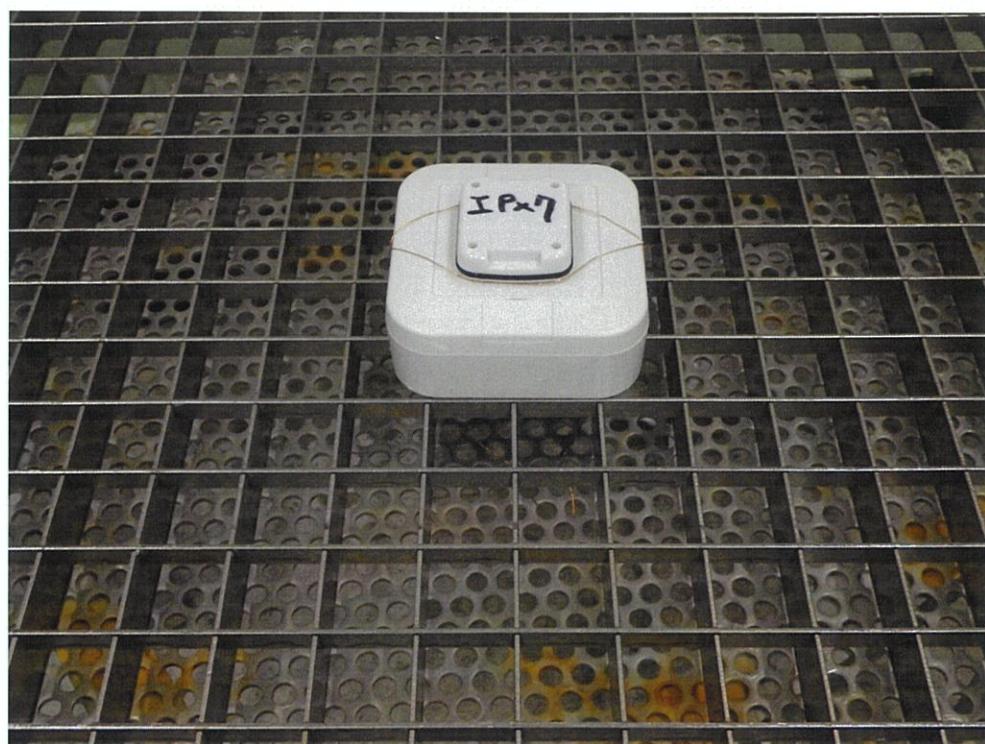
銘板

なし

設置状況 (IP6X)



設置状況 (IPX7)



以下余白